

# 2023年12月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社スペース

プライム市場：9622



# Agenda

01

2023年度 第1四半期 決算の概要

02

2023年度 第1四半期 事業の概況

03

2023年度 業績予想

04

中期経営計画

05

事例紹介



# Agenda

01

2023年度 第1四半期 決算の概要

02

2023年度 第1四半期 事業の概況

03

2023年度 業績予想

04

中期経営計画

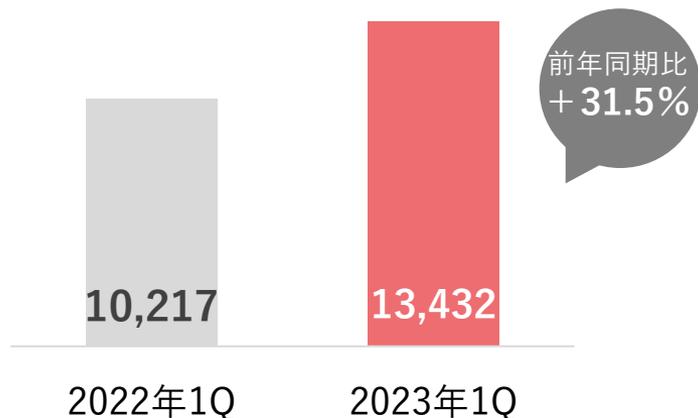
05

事例紹介



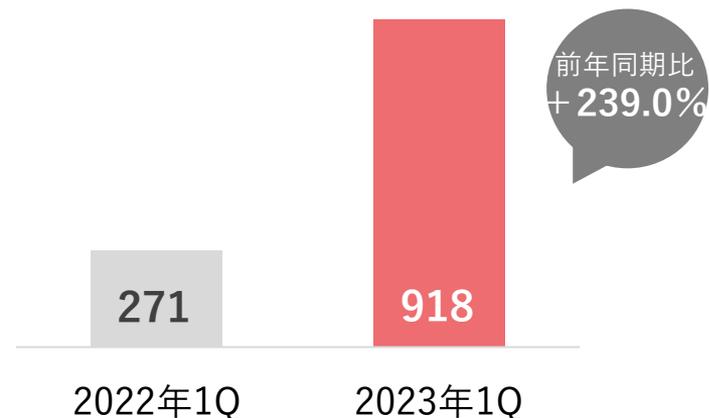
## 売上高

134億32百万円



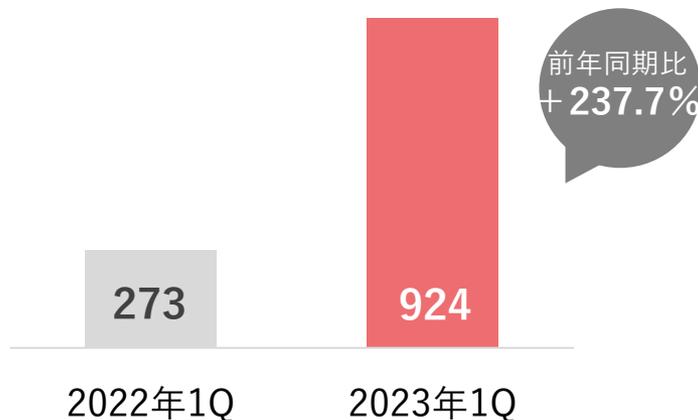
## 営業利益

9億18百万円



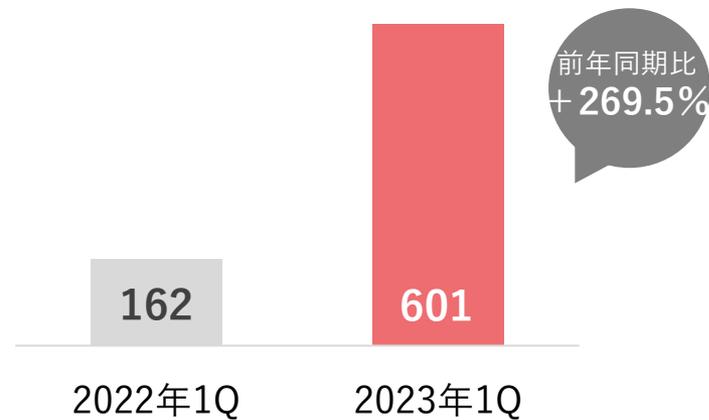
## 経常利益

9億24百万円



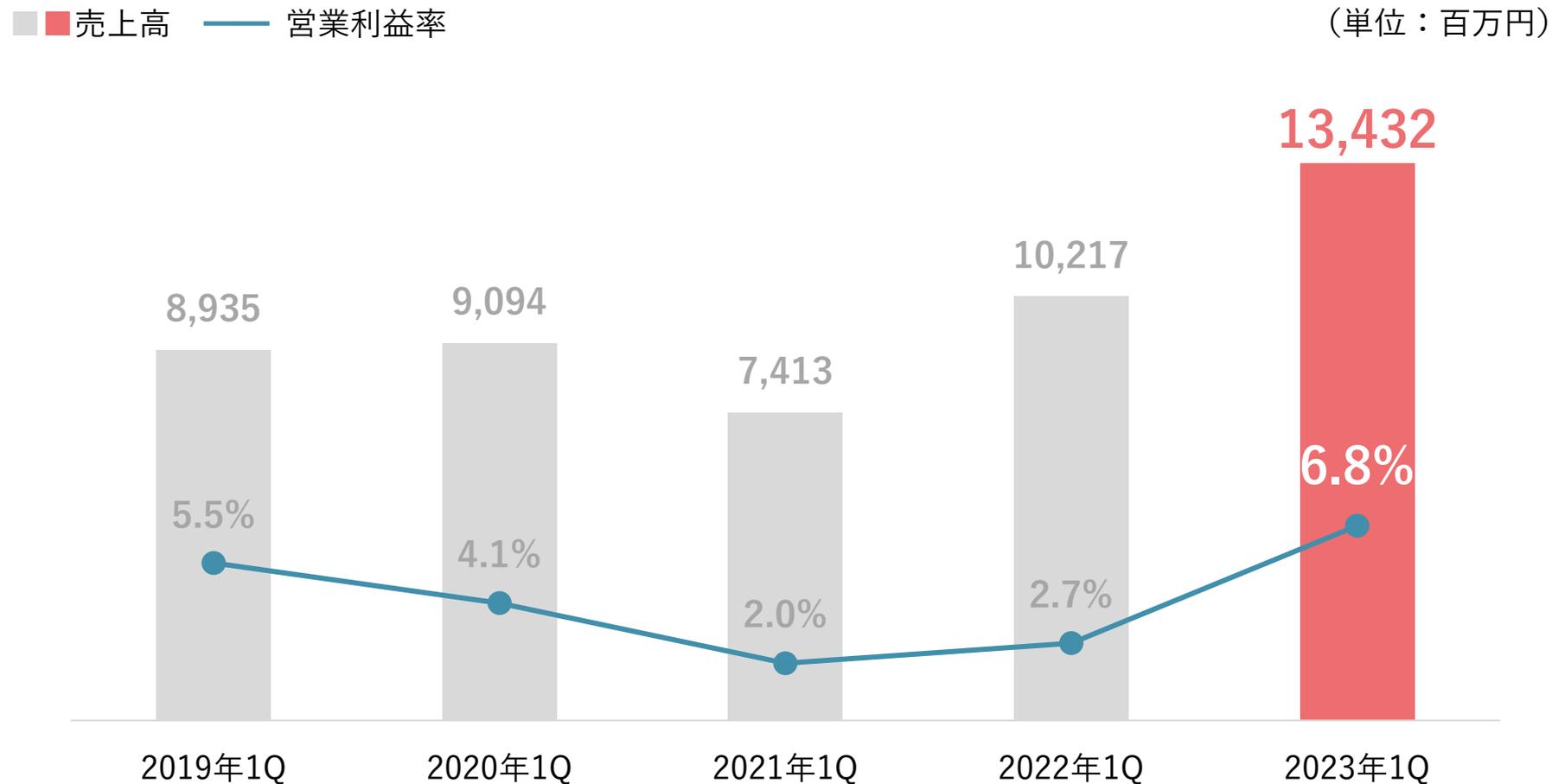
## 親会社株主に帰属する四半期純利益

6億1百万円



# 売上高・営業利益率推移

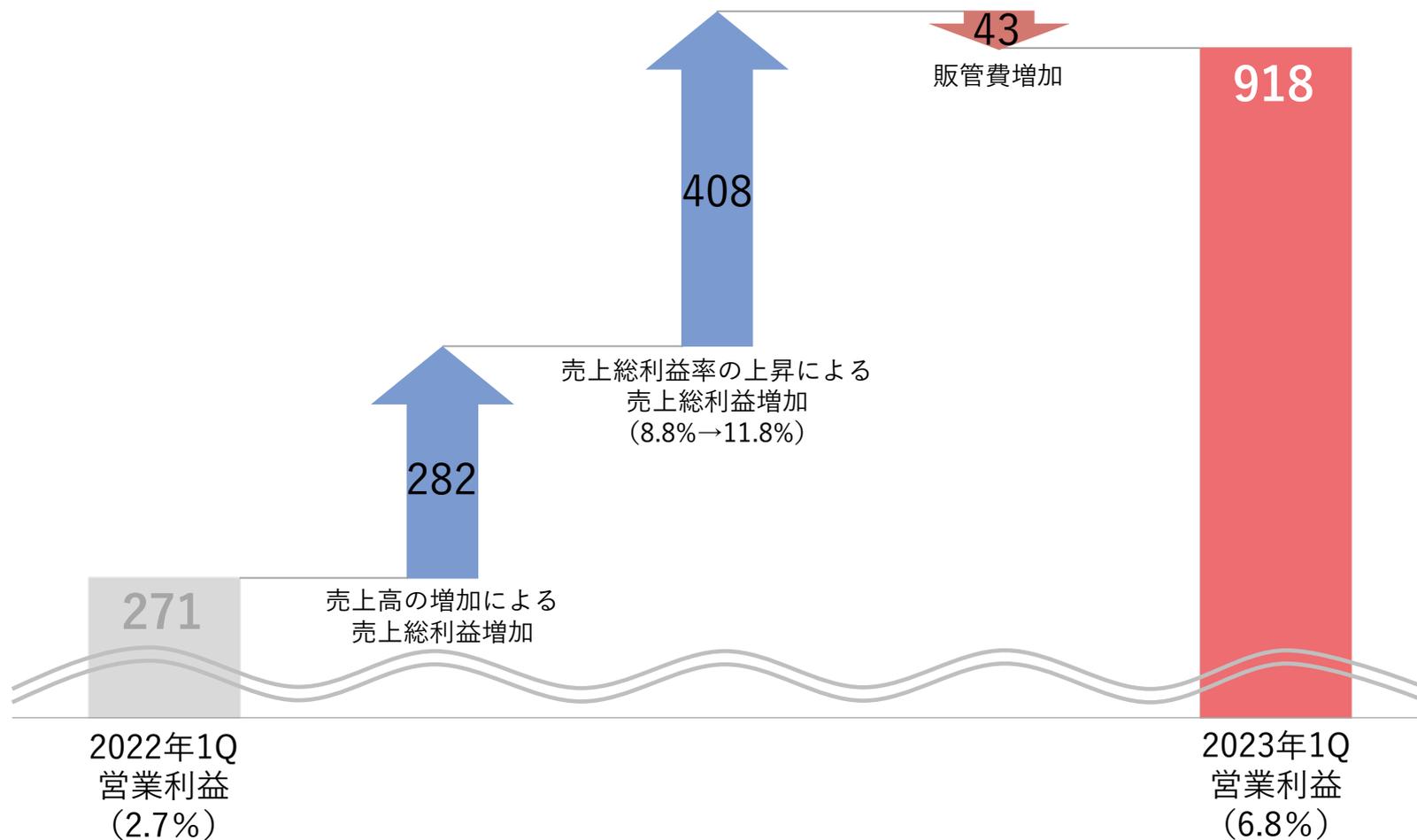
新型コロナウイルス感染症による影響からの持ち直しの動きが見られ、売上高・営業利益率ともにコロナ禍前の水準を大きく上回る結果となった



# 営業利益増減分析

売上高の増加に加えて、効率的な業務推進により売上総利益率が向上したことから、営業利益は647百万円の増加

(単位：百万円)

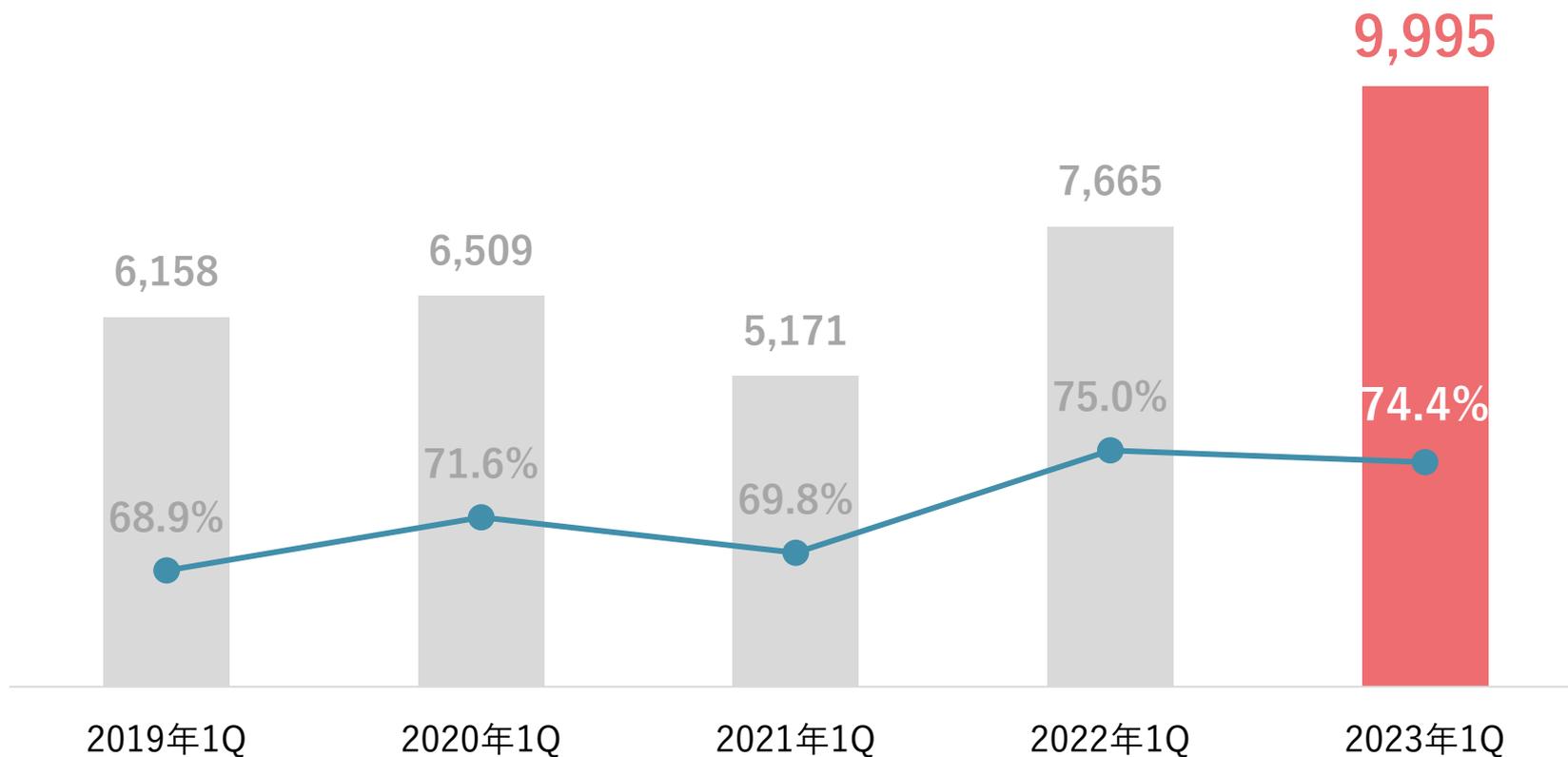


# 外注費推移

外注費率は前年同期比で0.6ポイント減少したものの、建設資材価格の高騰や同業他社との価格競争の激化により厳しい状況が続く

■ 外注費    — 外注費率

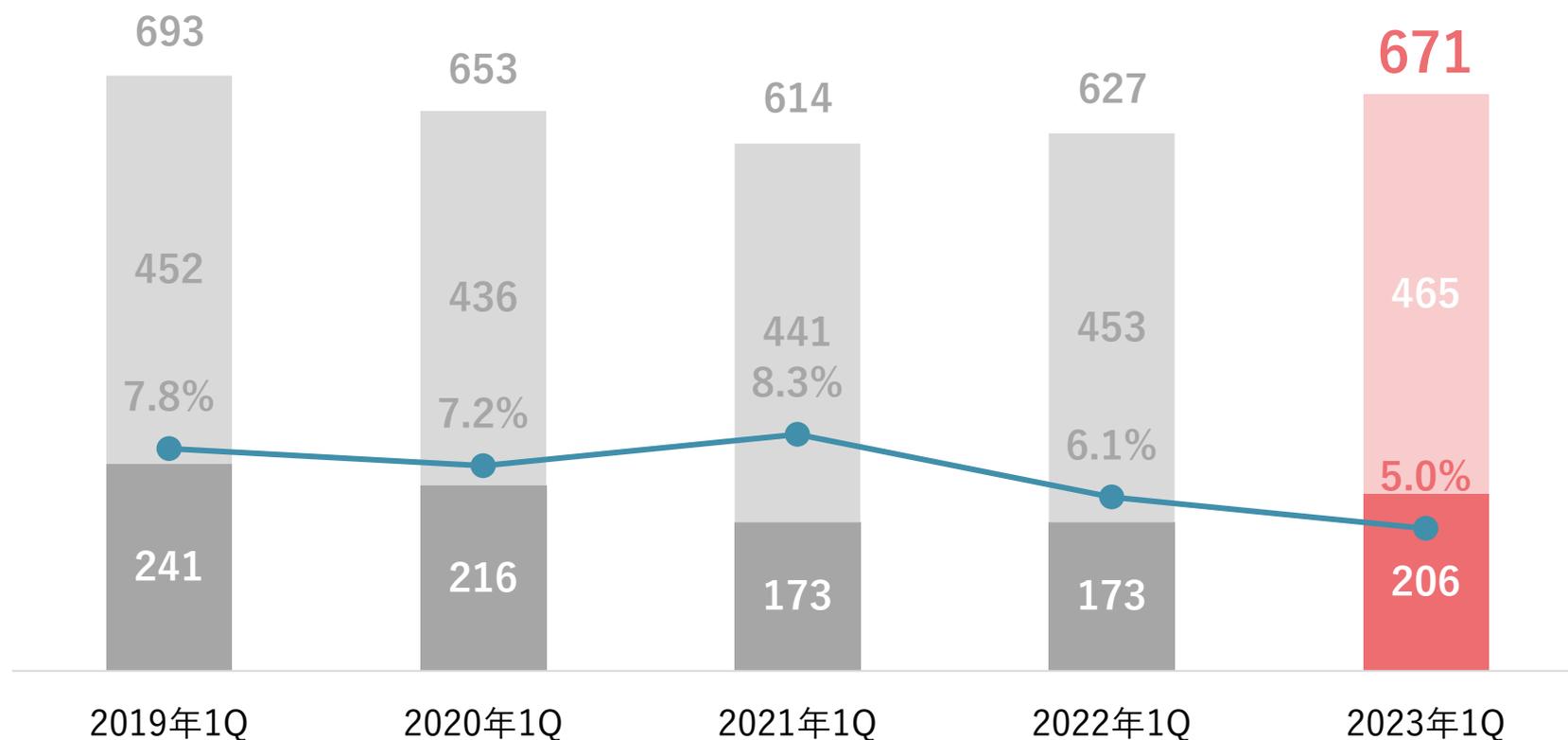
(単位：百万円)



# 販売費及び一般管理費推移

■ 販管費は増加しているものの売上高の増加幅が大きく、販管費率としては減少傾向

■ 経費 ■ 労務費 — 販管費率 (単位：百万円)



# Agenda

01

2023年度 第1四半期 決算の概要

02

2023年度 第1四半期 事業の概況

03

2023年度 業績予想

04

中期経営計画

05

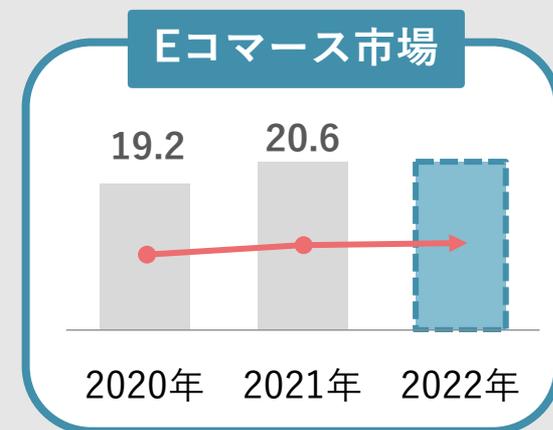
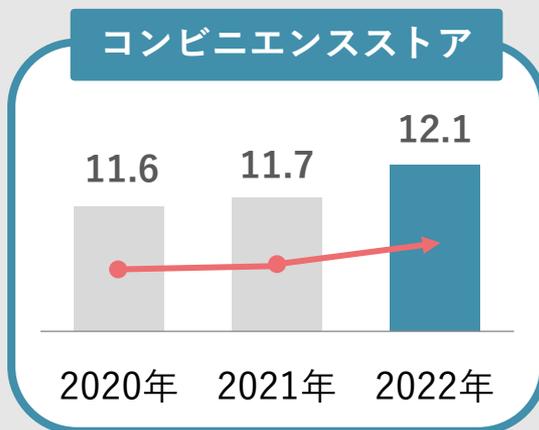
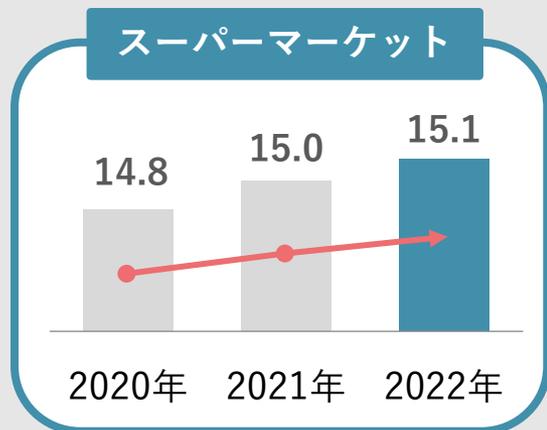
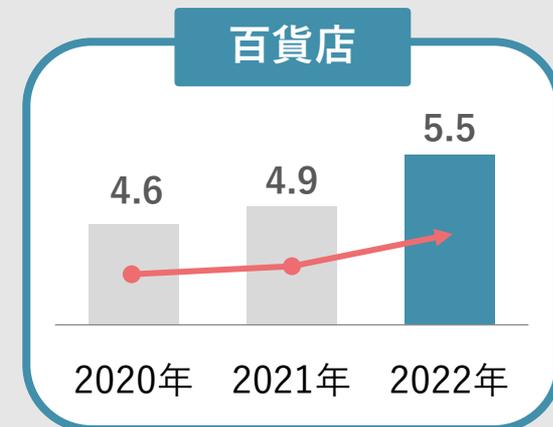
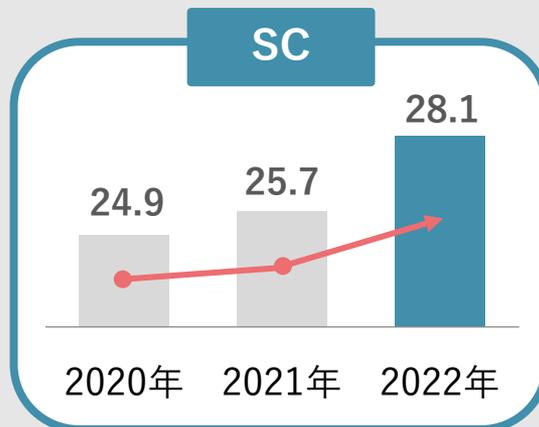
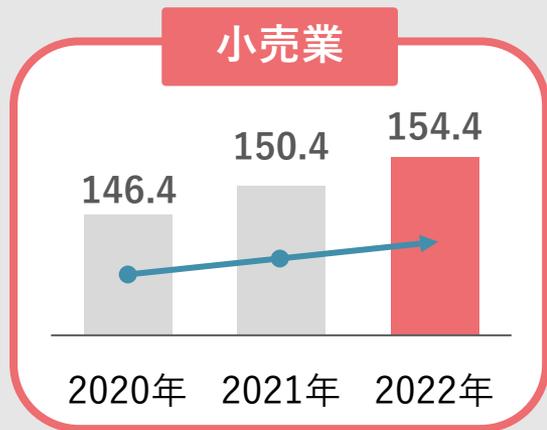
事例紹介



# 小売業界の動向

■ コロナ禍以降、小売業界全体としては回復基調で推移

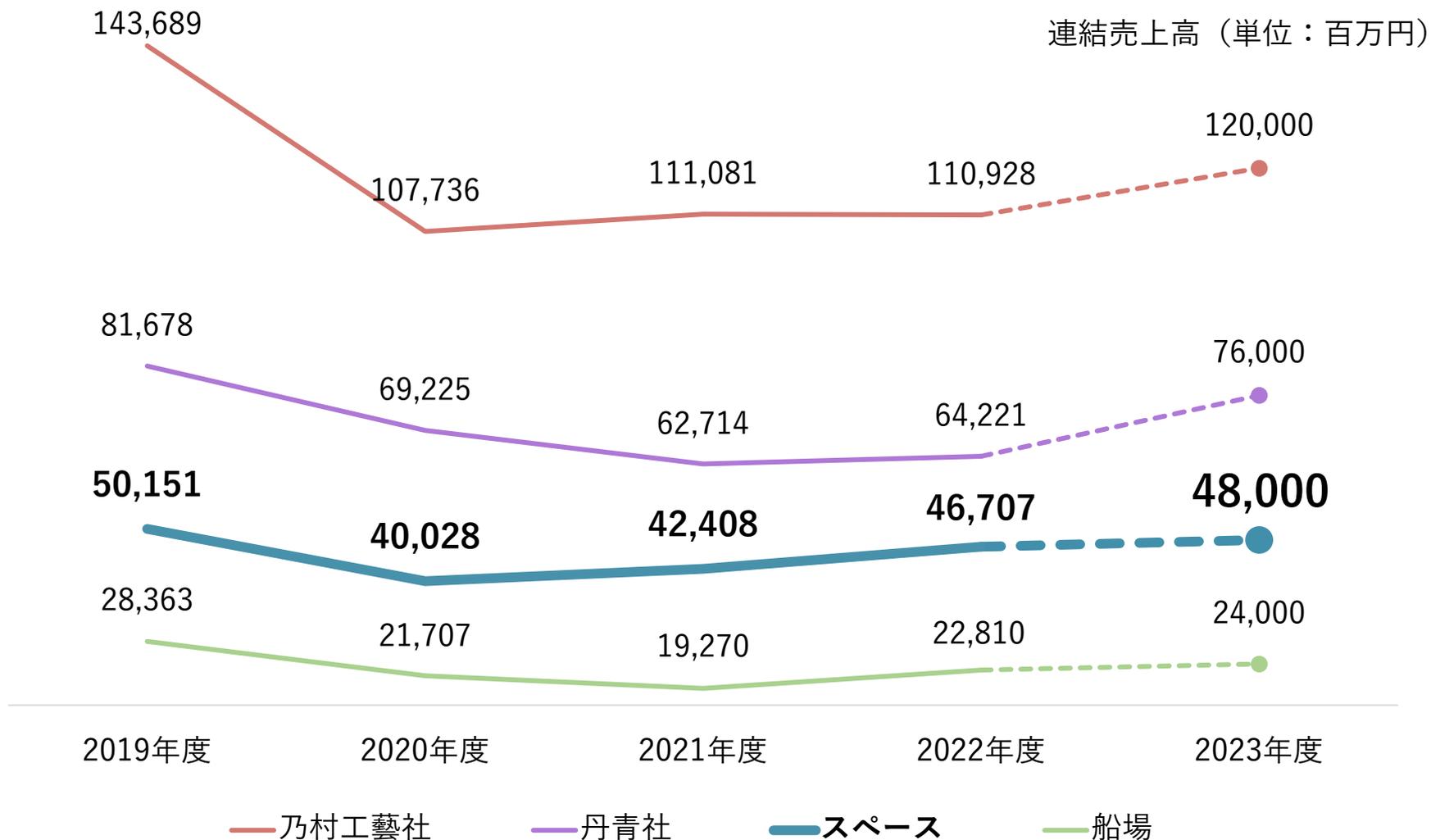
■ ■ ■ 売上高（単位：兆円）



(出典) 経済産業省「商業動態統計」・「電子商取引に関する市場調査」  
一般社団法人日本ショッピングセンター協会「SC年間販売統計調査」

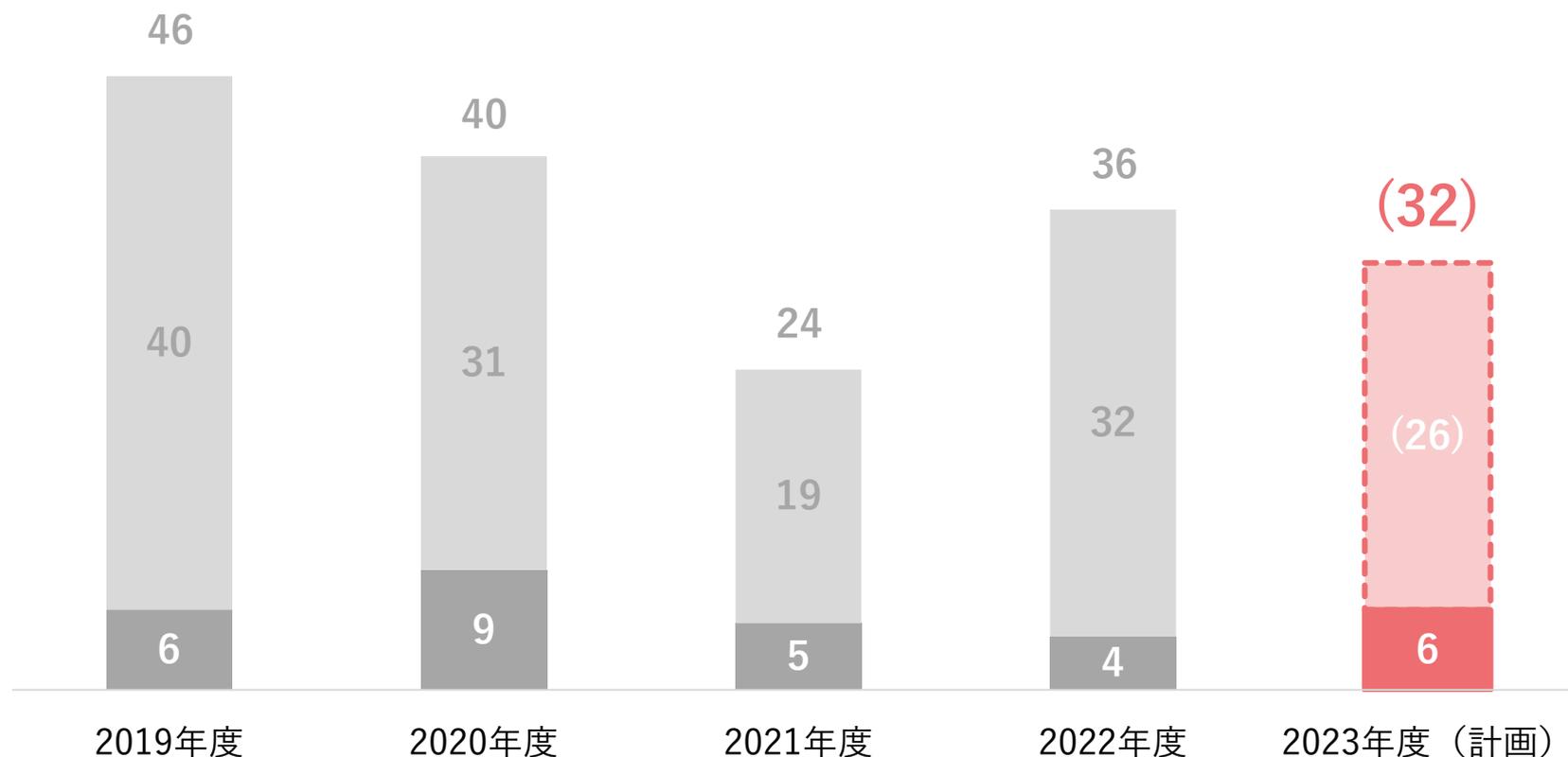
# ディスプレイ業界の動向

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一時は業界全体として落ち込みが見られたものの、近年は回復傾向にあり、2023年度は各社増収の見込み



2023年以降に開業するSCは公園や体験型施設の併設で集うことを意識した施設が増加  
アフターコロナを見据えた新たな段階への移行が進む

■ SC新規出店数 (1~3月) ■ SC新規出店数 (4~12月)



※ 2023年度の出店数は2023年5月10日時点の数字となります。

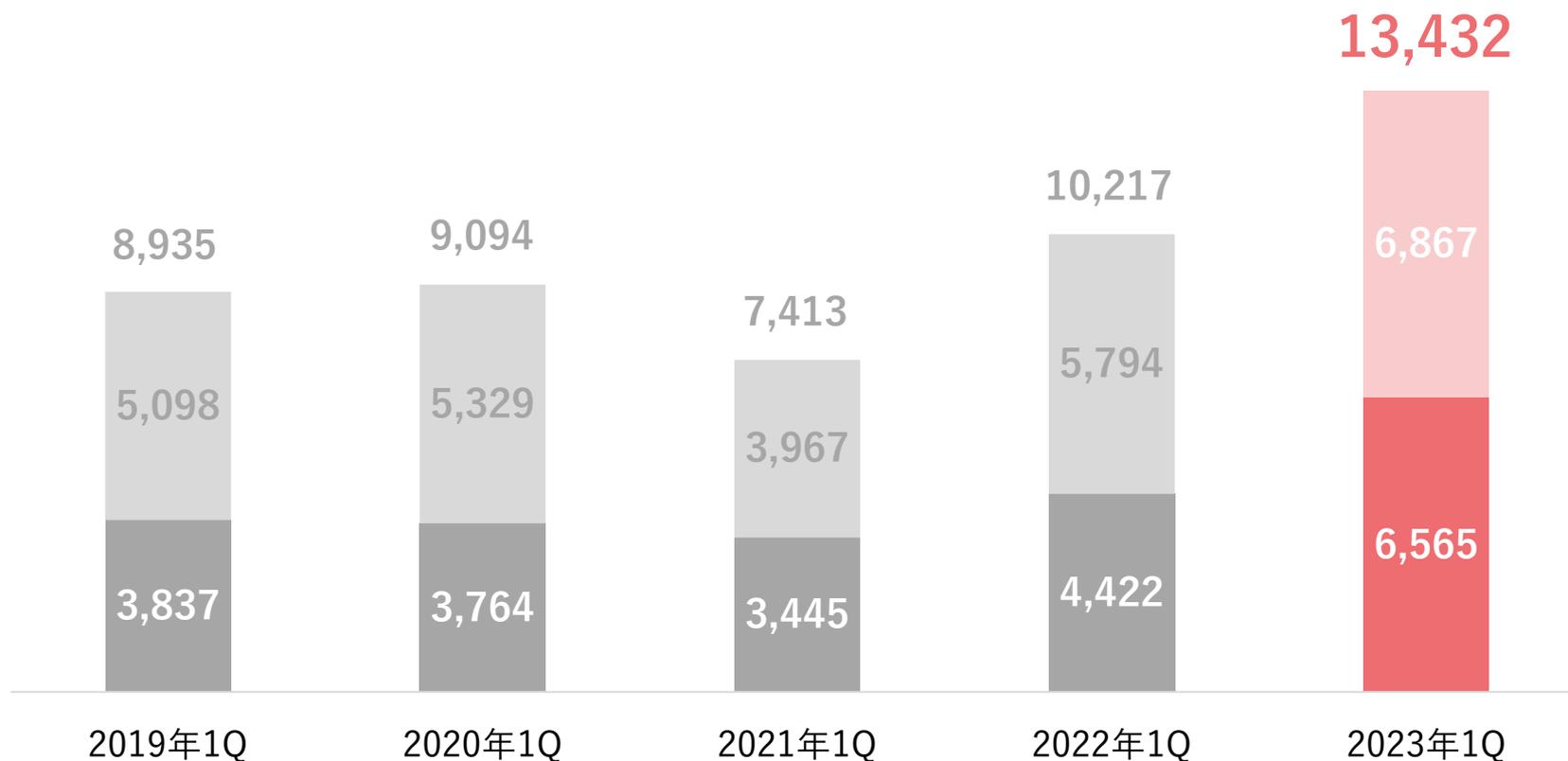
(出典) 一般社団法人日本ショッピングセンター協会「オープンSC情報」

# 売上高推移（SC関連・その他）

当社の売上高のうち、SC関連が5割以上を占める  
近年はオフィス・サービス空間の受注強化等により、SC関連以外の比率が増加

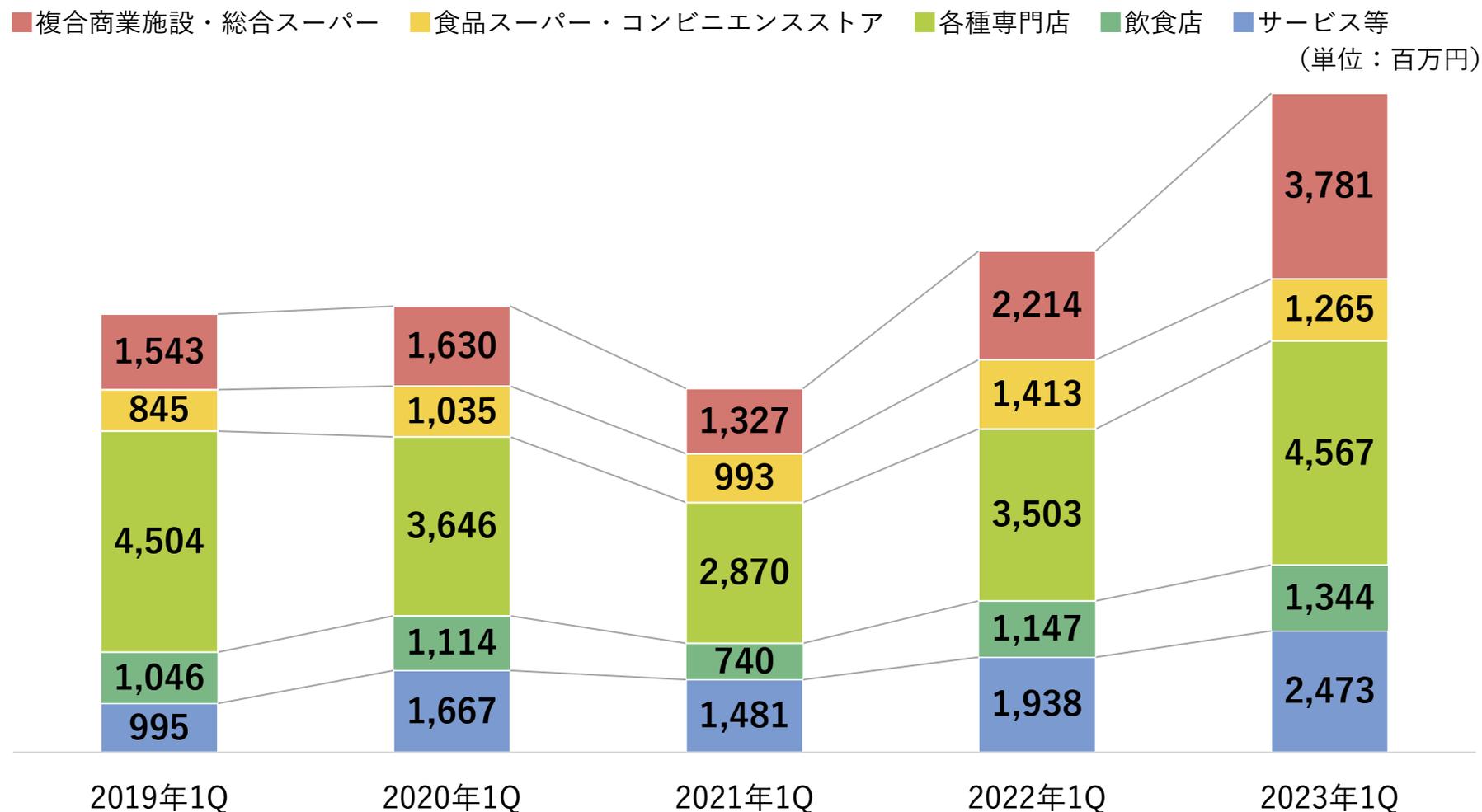
■ SC関連 ■ その他

(単位：百万円)



# 市場分野別売上高推移

大型案件の受注があった複合商業施設・総合スーパー分野や、前中期経営計画から継続して注力しているサービス等分野の受注拡大が目立つ

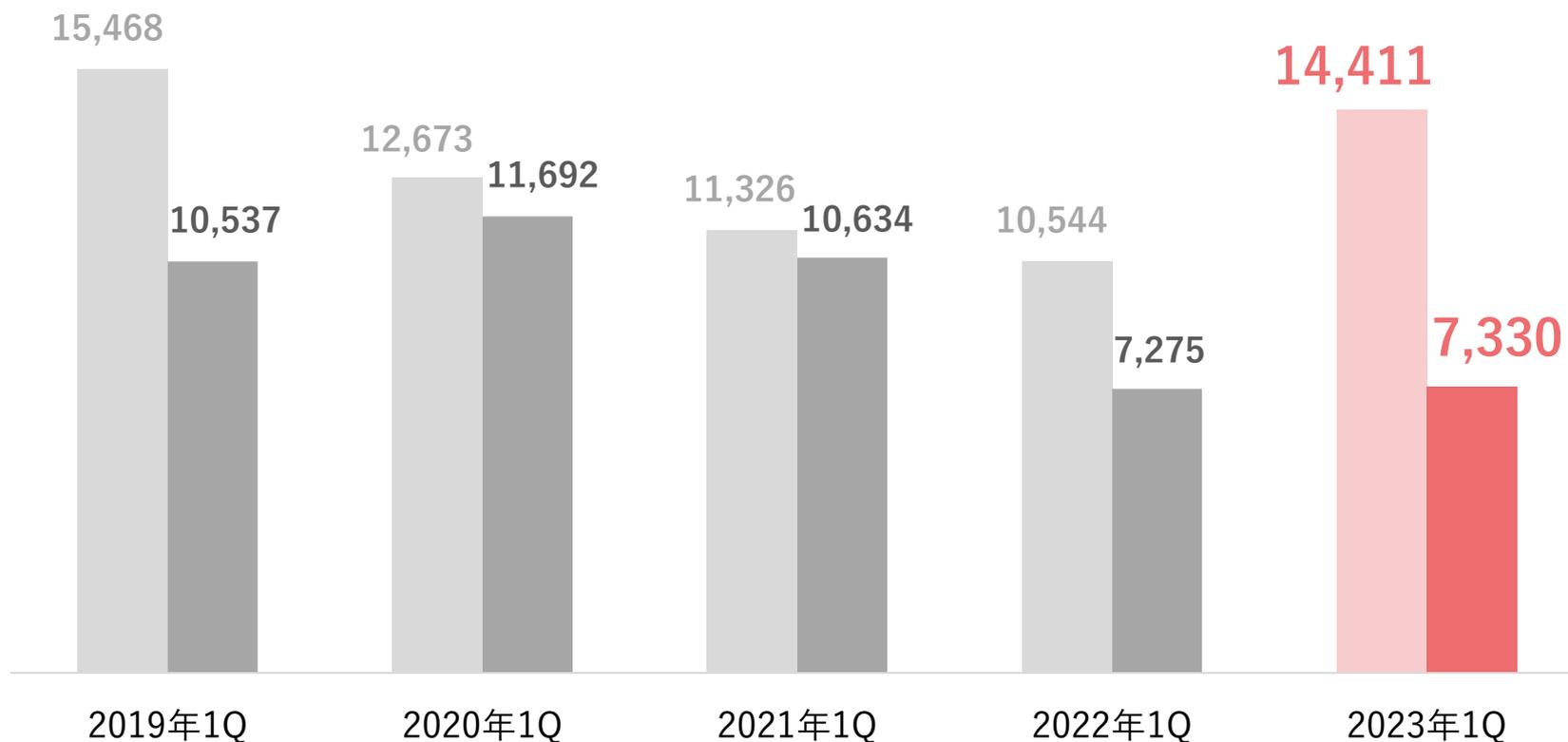


# 受注高・受注残高推移

2022年1Q以降、収益認識会計基準等の適用による影響で受注残高は減少しているものの前年同期と比較すると受注高・受注残高ともに増加

■ 受注高 ■ 受注残高

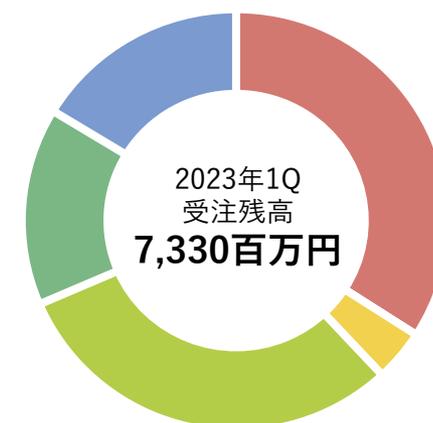
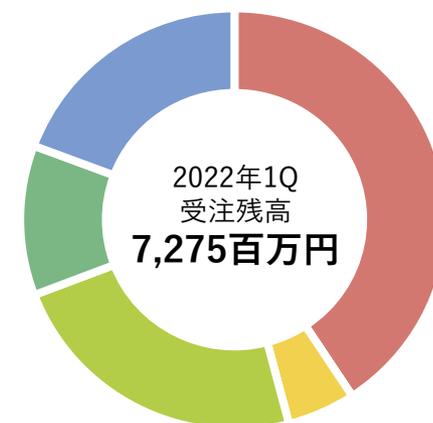
(単位：百万円)



# 市場分野別受注残高

新型コロナウイルス感染症拡大により先行きが不透明だったアパレル店舗を含む各種専門店分野や飲食店分野の割合が増加

	2022年1Q		2023年1Q	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ 複合商業施設 総合スーパー	2,962	40.7	2,499	34.1
■ 食品スーパー コンビニエンスストア	376	5.2	290	4.0
■ 各種専門店	1,694	23.3	2,232	30.5
■ 飲食店	836	11.5	1,112	15.2
■ サービス等	1,404	19.3	1,195	16.2
合計	7,275	100.0	7,330	100.0



# Agenda

01

2023年度 第1四半期 決算の概要

02

2023年度 第1四半期 事業の概況

03

2023年度 業績予想

04

中期経営計画

05

事例紹介



# 2023年度 通期見通し

2023年度通期見通しを策定

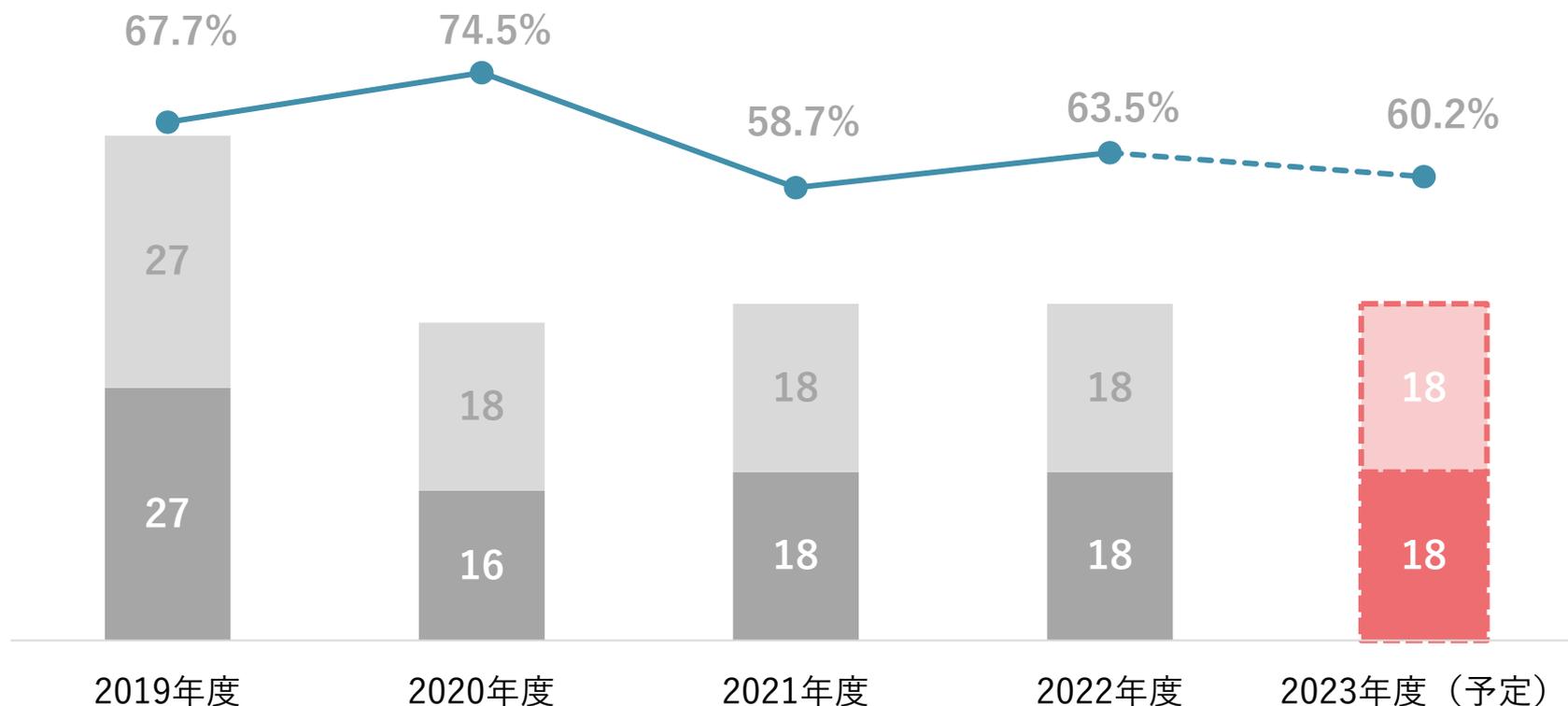
原材料価格の高騰等に伴う下振れリスクに注視し、コスト意識を持って利益確保に努める

	2022年度通期 実績 (百万円)	2023年度通期 予想 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	46,707	48,000	1,292	2.8
営業利益	2,096	2,220	123	5.9
経常利益	2,126	2,230	103	4.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,394	1,470	75	5.4
1株当たり当期純利益 (円)	56.71	59.79	3.08	5.4
配当金 (円)	中間 18.00	中間 18.00	—	—
	期末 18.00	期末 18.00		

# 配当実績

■ 収益力の向上と財務体質の強化を図り、業績に連動した配当を実施

■ 中間 ■ 期末 — 配当性向 (単位：円)



# Agenda

01

2023年度 第1四半期 決算の概要

02

2023年度 第1四半期 事業の概況

03

2023年度 業績予想

04

中期経営計画

05

事例紹介



## 目標



営業利益率 5%



売上高成長率 5%



全社員活躍の実現



顧客提供価値の向上

## 方針

- 自ら考え、行動し、成果にこだわる
- オールスペースが持つ可能性を追求する
- 一人ひとりが経営者意識を持って行動する

## 戦略

事業発展の戦略

ソフト  
プロデュースカ  
の進化

ハード  
プロデュースカ  
の進化

地域活性への  
参画

グループ  
シナジーの発揮

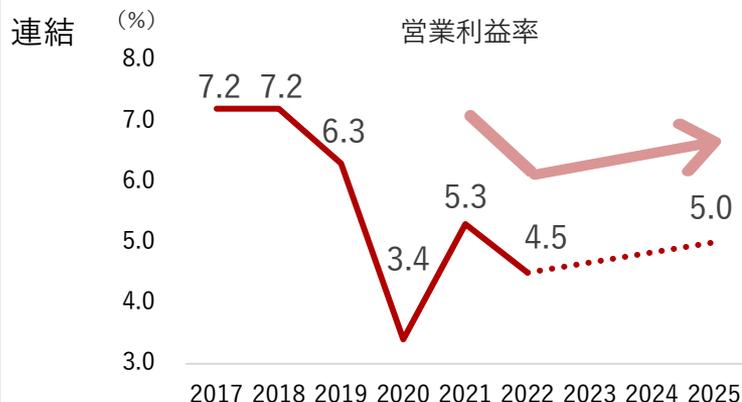
経営進化の戦略

働きがい改革

機能別組織の進化



## 営業利益率 5%



## 売上高成長率 5%

※工事完成基準による



## 全社員活躍の実現

単体	KPI		
多様な人材確保	知的創造支援	健康活躍促進	
新規採用者数	社員の教育投資額	1人当たり 所定外労働時間	
<b>300名</b> (2023-2025累計)	<b>100百万円</b> ※2022年度比約2倍	<b>360時間/年</b>	



## 顧客提供価値の向上

単体	KPI	
地域コミュニティへの貢献	環境負荷低減	
地域活性案件 取り組み件数	サステナブル素材 活用案件率	
<b>100件</b>	<b>30%</b>	

## 重要経営指標

**ROA** (総資産営業利益率)

配当性向 **50% 以上**

## 事業発展の戦略

### ソフトプロデュース力の進化

- ・クリエイター人材の育成
- ・外部ネットワークの拡大
- ・マーケティング組織の確立

一級建築士  
資格取得者数 **15名**  
(2023-2025累計)

### ハードプロデュース力の進化

- ・現場から選ばれるコンテンツの開発導入
- ・組織化・適正配置による施工技術者の育成
- ・パートナー企業の拡充

1級建築施工  
管理技士  
資格取得者数 **15名**  
(2023-2025累計)

新規主要  
パートナー  
企業数 **100社増**  
2022年度比

### 地域活性への参画

- ・公民連携事業への取り組み強化
- ・大阪・関西万博および周辺事業への参画
- ・地方事務所の営業力強化

公民連携事業  
案件取り組み  
件数 **20件**

### グループシナジーの発揮

- ・PM事業への人的投資による商業コンサルティングの強化
- ・デジタル技術の実装
- ・海外新拠点の開拓

MSCとの  
PM事業連携  
案件数 **10件**

SC経営士  
資格取得者数 **10名**  
(2023-2025累計)

## 経営進化の戦略

### 働きがい改革

- ・社員の心とカラダの健康支援
- ・特性に応じたキャリア開発支援
- ・多様な人材の活躍支援
- ・働きがいを高める環境整備

有給休暇取得率 **80%**

資格取得者数  
※当社資格手当の  
対象資格 **100人**  
(2023-2025累計)

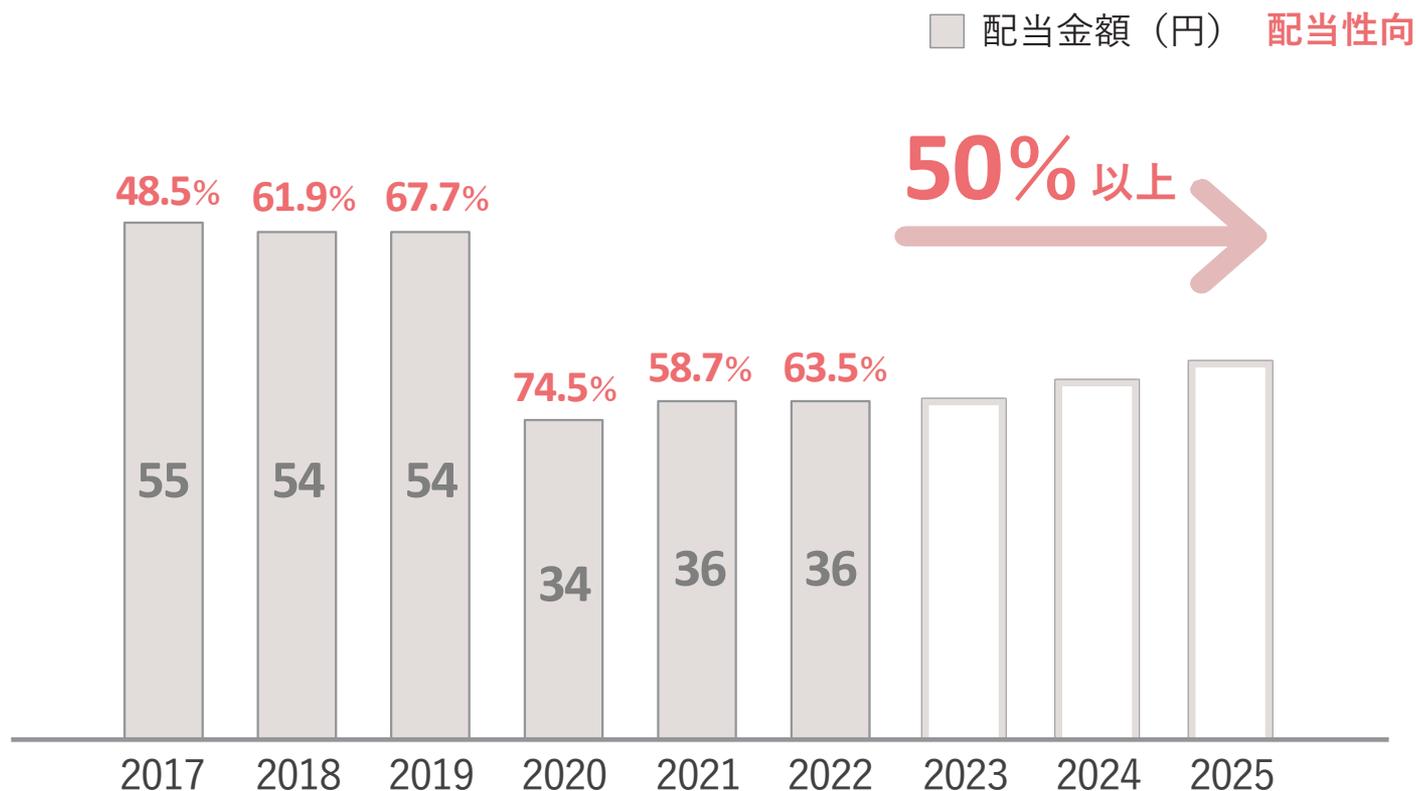
女性管理職・専門職比率 **20%**

### 機能別組織の進化

- ・企業情報の発信強化
- ・投資家との対話強化
- ・DX推進による業務改革

# 中期経営計画 - 株主還元方針

財務健全性、成長と還元のバランスを総合的に勘案しつつ、積極的な利益還元をおこなう  
本中期経営計画期間においては、連結配当性向50%以上を目標水準とする



「商空間の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。」という企業理念に基づき、自社と社会双方の持続可能な発展を目指す

## 目指す方向性

地域  
コミュニティー  
への貢献

地域のステークホルダーと協調関係を構築し、地域社会の活性化や発展、価値向上に貢献します。

安全・安心な  
空間づくり

安全かつ豊かで便利な生活に寄与する、強固でしなやかな空間づくりに取り組みます。

環境負荷の低減

エネルギー、資源といった環境課題にバリューチェーン全体を通して取り組み、環境負荷の少ない事業を推進します。

持続可能な  
調達の推進

公平・公正な取引を徹底するとともに、人権や労働衛生、環境に配慮した調達を推進します。

多様性の尊重

性別・人種・国籍・宗教などに関わらず、多様な個人が尊重される社会の実現に貢献します。

人材開発と  
働きがいのある  
職場づくり

人材が価値を生み出す源泉であると捉え、社員が能力を発揮し活躍できる労働環境を実現します。

持続的成長に  
向けたガバナンス  
の強化

法令や規範を遵守し、透明性を持った誠実な事業活動を行います。

## 当中期経営計画期間におけるKPI

- ・地域活性案件取り組み件数
- ・公民連携事業案件取り組み件数
- ・1級建築施工管理技士資格取得者数
- ・サステナブル素材活用案件率
- ・パートナーエンゲージメント：90%（2025年度）  
※取引姿勢・法令順守等に関するアンケートによる
- ・女性管理職・専門職比率
- ・教育投資額 ・資格取得者数
- ・1人当たり所定外労働時間
- ・有給休暇取得率
- ・BCPの策定（2025年度までに）
- ・ESGに関する年次レポート発行（毎年度）

# Agenda

01

2023年度 第1四半期 決算の概要

02

2023年度 第1四半期 事業の概況

03

2023年度 業績予想

04

中期経営計画

05

事例紹介



テクノプラザ愛媛別館  
交流型会議室

所在地：愛媛県松山市  
クライアント：公益財団法人えひめ産業振興財団 様  
当社業務範囲：企画・設計・施工

複合商業施設・  
総合スーパー食品スーパー・  
コンビニエンスストア

各種専門店

飲食店

サービス等



愛媛県内のビジネス支援を担うテクノプラザ愛媛別館にある「交流型会議室」のリニューアルプロジェクト。起業に向けての「岐路」をコンセプトに、道路や屋外標識をモチーフにしたデザイン計画を行いました。自然光をふんだんに取り入れられるように配慮して計画された会議室や相談室、休憩エリアにより、誰でも気軽に相談できるような心地よい空間を実現。利用者が自由に書き込みできる透明の掲示板を設置したり、建物の丸柱を電柱に見立てフライヤーを貼ることができる仕掛けを施したりと、起業の道を歩む利用者同士の交流の場をつくることを目指しました。

### FREAK'S STORE mozoワンダーシティ店 / くずはモール店

所在地：愛知県名古屋市 / 大阪府枚方市  
クライアント：株式会社デイトナ・インターナショナル様  
企画：株式会社デイトナ・インターナショナル様  
当社業務範囲：設計・施工

複合商業施設・  
総合スーパー

食品スーパー・  
コンビニエンスストア

各種専門店

飲食店

サービス等



株式会社デイトナ・インターナショナル様が推進するSDGsの取り組みの一環である、サステナブル素材の活用を後押しした店舗デザイン案件です。ブランドイメージを大切にしながら、「商品」だけでなく「店舗」としてサステナビリティを表現することを目指しました。再生紙を使った紙管を用いて空間を構成し、店舗の顔となるレジバックの看板やカウンター、演出台には廃棄衣料のアップサイクル材であるPANECO®を採用。過剰生産や大量廃棄というアパレル業界の課題を背景に、アパレルブランドとしての責任感とメッセージを世の中に発信する店舗になりました。

## Naps Sports 第50回東京モーターサイクルショー

所在地：東京都江東区  
クライアント：株式会社ナップス様  
当社業務範囲：企画・設計・施工

複合商業施設・  
総合スーパー

食品スーパー・  
コンビニエンスストア

各種専門店

飲食店

サービス等



国内最大級のモーターサイクルイベントである第50回東京モーターサイクルショーで、株式会社ナップス様の「究極のライダーのために」をキーメッセージとしたプライベートブランド「Naps Sports」の展示ブースを手がけました。これまでの「Naps Sports」の展開にあたり、ブランド構築から空間表現を絡めて関わらせていただいております。本案件ではブランドイメージを凝縮し、展示に落とし込みました。パーツのみを吊り下げた細部まで間近で見られる展示など、プロダクトのクオリティの高さを来場者に知っていただけるブースにしました。ほぼ全てをリース品で構成し、一部ターポリンを使用したサインは既存店でも流用いただくなど廃材等が出ないサステナブルな設計としています。



參考資料

## 複合商業施設 総合スーパー分野



前年同期比 +70.8%

## 食品スーパー コンビニエンスストア分野



前年同期比 △10.5%

## 各種専門店分野



前年同期比 +30.4%

## 飲食店分野



前年同期比 +17.2%

## サービス等分野



前年同期比 +27.6%

# 損益計算書

	2022年1Q		2023年1Q		前年同期比	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	10,217	100.0	13,432	100.0	3,215	31.5
売上原価	9,318	91.2	11,842	88.2	2,523	27.1
売上総利益	898	8.8	1,590	11.8	691	76.9
販管費	627	6.1	671	5.0	43	7.0
営業利益	271	2.7	918	6.8	647	239.0
営業外損益	2	0.0	5	0.0	2	108.3
経常利益	273	2.7	924	6.9	650	237.7
特別損益	—	—	—	—	—	—
法人税等	108	1.1	317	2.4	208	192.2
非支配株主に帰属する 四半期純損益	2	0.0	5	0.0	3	133.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	162	1.6	601	4.5	438	269.5

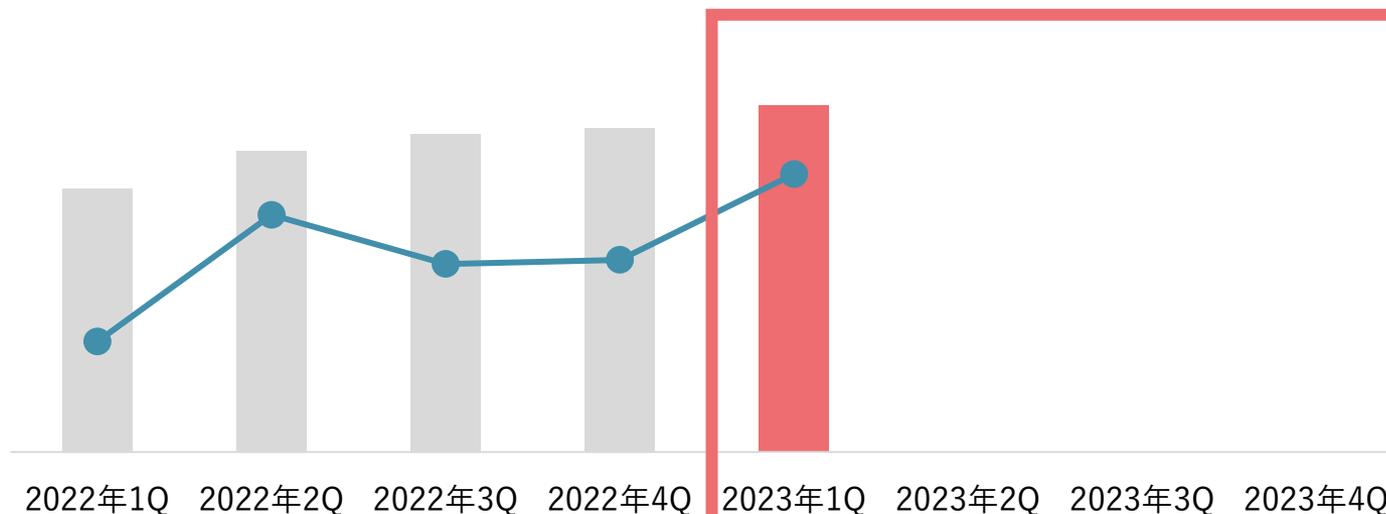
# 貸借対照表

	2022年度		2023年1Q		前年末比	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
流動資産	24,524	69.3	25,881	68.6	1,356	5.5
固定資産	10,879	30.7	11,843	31.4	963	8.9
資産合計	35,404	100.0	37,724	100.0	2,320	6.6
流動負債	5,105	14.4	7,254	19.2	2,148	42.1
固定負債	701	2.0	676	1.8	△25	△3.6
負債合計	5,807	16.4	7,930	21.0	2,123	36.6
純資産合計	29,596	83.6	29,794	79.0	197	0.7
負債・純資産合計	35,404	100.0	37,724	100.0	2,320	6.6

# 四半期業績推移

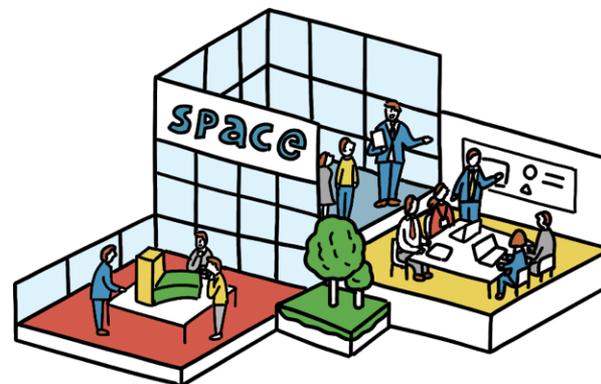
■ 売上高 — 営業利益率

(単位：百万円)



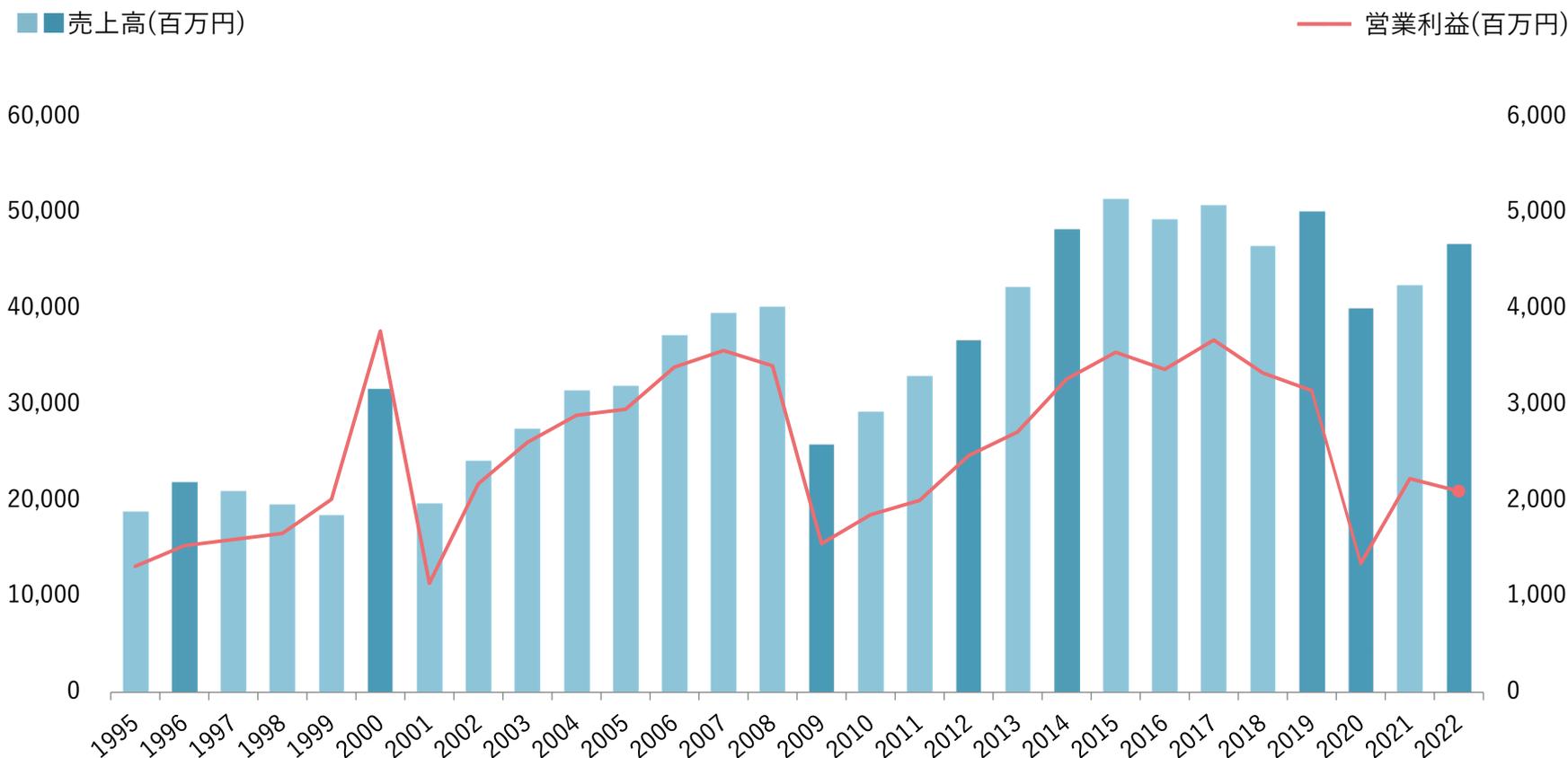
	2022年1Q	2022年2Q	2022年3Q	2022年4Q	2023年1Q	2023年2Q	2023年3Q	2023年4Q
売上高	10,217	11,655	12,304	12,529	13,432			
営業利益	271	672	560	592	918			
経常利益	273	685	563	603	924			
親会社株主に帰属する 当期純利益	162	447	355	428	601			
1株当たり当期純利益 (円)	6.60	18.19	14.50	17.45	24.54			
営業利益率 (%)	2.7	5.8	4.6	4.7	6.8			

商号	株式会社スペース SPACE CO., LTD.
創立	1948年（昭和23年）7月
上場	東京証券取引所プライム市場（証券コード:9622）
資本金	33億9553万円
従業員数	連結：851名 単体：820名（2022年12月末時点）
子会社	3社
営業拠点	国内14拠点 海外2拠点
事業内容	ディスプレイ業
決算期	12月31日



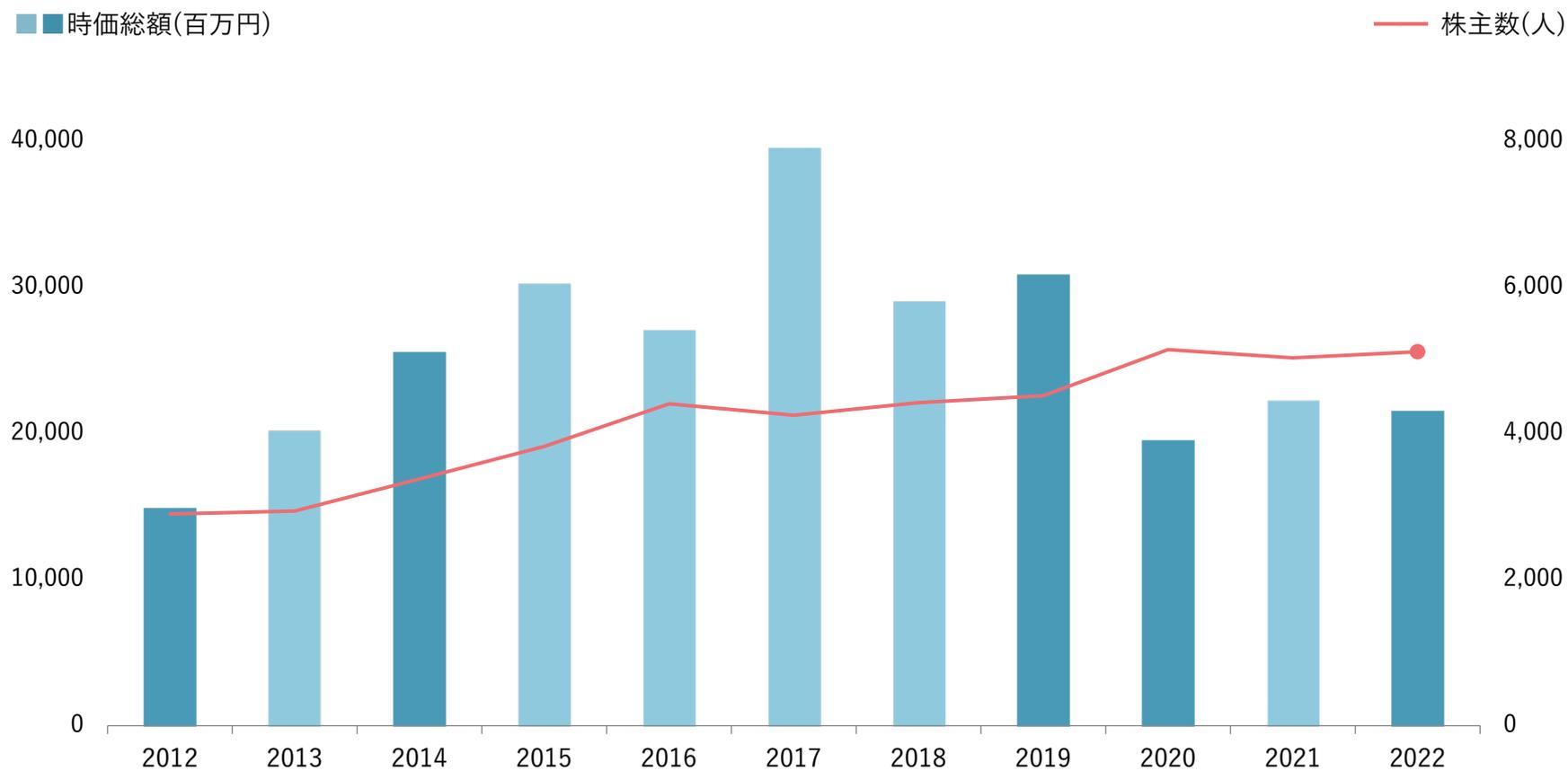
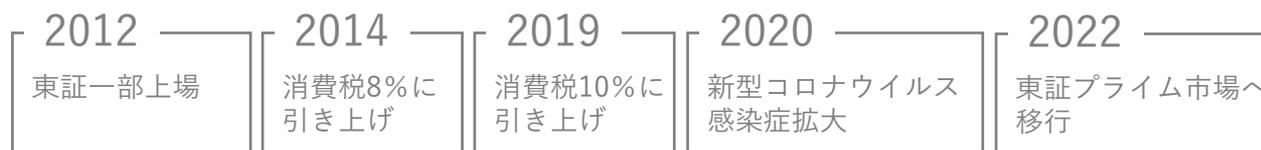
# 売上高及び営業利益推移

1996 消費税5%に 引き上げ	2000 大規模小売店舗 立地法施行	2009 リーマン ショック	2012 東証一部上場	2014 消費税8%に 引き上げ	2019 消費税10%に 引き上げ	2020 新型コロナウイルス 感染症拡大	2022 東証プライム市場へ 移行
------------------------	--------------------------	----------------------	----------------	------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------



※ 当社は2019年度より連結決算を開始したため、2018年度以前は単体数値を掲載しております。

# 時価総額及び株主数推移



※各年度末における時価総額、株主数  
※自己株式を除く

明日が、笑顔になる空間を。

# SPaCe



IRに関するお問い合わせ

経営管理本部 財務部  
ir\_info@space-tokyo.co.jp

本資料には、現時点で入手可能な情報に基づいた将来に関する見通し、計画に基づく予測が含まれています。社会・経済・業界状況の変動等に関するリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と異なる可能性がありますことをご了承ください。